

# 文献調査が変わる！研究者が極意を伝授 『ジャパナレッジ版 史料纂集・群書類従』

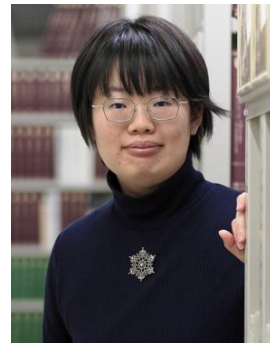
## 基調講演

### ジャパナレッジ版 史料纂集・群書類従 ～デジタル時代の古典文学研究のヒント集～

石井 悠加 氏

(四国大学 文学部日本文学科 講師)

古典文学の研究テーマに挑戦しようとする学生に対して、オンラインデータベースがどのように力を貸してくれるのか、ご自身の経験に即してわかりやすく紹介いただきます。



#### 【登壇者紹介】

石井 悠加 氏【基調講演】

四国大学文学部日本文学科 講師。専門は日本中世文学。鎌倉～南北朝時代の和歌表現と空間・絵画とがどのように関わるのかを研究している。主な論文に「『慕帰絵』の制作意図—和歌と絵の役割について—」（『中世文学』61号、2016年6月）、「西行伝絵巻と時宗—『一遍聖絵』『遊行上人縁起絵』東国遊行の場面について—」（『西行学』13号、2022年10月）などがある。

柴田 充朗 氏【史料纂集刊行の裏話】

佐藤 早樹子 氏【Web版史料纂集の使い方】

イベントに参加・アンケートに回答頂いた方に、  
【史料纂集クリアファイル】と【特製カレンダー2024「中世の古記録」】をプレゼント！



## イベント詳細

日程：2023年11月10日（金）15時～16時

開催方法：オンライン（Zoomウェビナー）

主催：紀伊國屋書店、協力：ネットアドバンス、八木書店

申込フォーム：<https://forms.office.com/r/VCfc67vkRY>



申込フォームにはこちらの  
QRコードからも、アクセス  
いただけます！

## イベント開催にあたって

「史料纂集」は日本の歴史・文化研究で必須の重要史料を、使いやすく文字起こし（翻刻）した一大史料集成です。古記録編と古文書編から成り、古代から近世の、公家の日記から武士や僧侶・神官の日記まで、さまざまな時代・ジャンルの重要史料を翻刻しています。その翻刻は「大日本古記録」「大日本古文書」とともに、学界で最も信頼のおけるテキストとして評価され、現在まで270冊以上を刊行しています。

2024年1月に「Web版 史料纂集」の第2期がリリースされることを記念し、記念イベントを実施します。今回は、気鋭の研究者である石井悠加氏をお招きして、「史料纂集」と「群書類従」の併用に焦点をあてます。「群書類従」はJKBooksシリーズの中でも、最も多く導入されたデータベースで、全文テキスト検索による利便性が大きな反響を呼びました。

イベントでは、データベースを実際に動かしながら、「史料纂集」と「群書類従」を実際にご利用されている石井氏から、大学生がレポート作成に利用するための検索のコツを伝授していただきます。全文検索に対応したデジタルコンテンツならではの使い方、「史料纂集」と「群書類従」を連携させた利用法、図書館におけるレファレンス活用のヒントまで、幅広くご講演いただける予定です。

図書館のご担当者様はもちろん、学生の方、  
研究者の方のご参加も心よりお待ちしております。



お申込み・お問い合わせは

 **紀伊國屋書店**

デジタル情報営業部

電話：03-6910-0518

メール：[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)